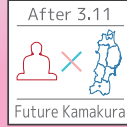


心をひとつに

～つなげようみちのくの未来へⅡ～ イベント報告 -2014.3-



概要

- 【名称】心をひとつに
～つなげようみちのくの未来へⅡ～
- 【日時】2014年3月9日(日)
10:00～15:30
- 【場所】鎌倉市役所駐車場、
鎌倉市役所第4分庁舎(防災講演会)
- 【主催】3.11ALL鎌倉実行委員会
- 【来場者】約5,000人

2014年3月9日、鎌倉市役所駐車場にて、東日本大震災被災地支援及び鎌倉市民防災意識啓発イベント『心をひとつに～つなげようみちのくの未来へⅡ～』が開催されました。昨年に続き2回目となります。

2ヶ月前から開始した広報活動、多くの方々からのご協力・ご協賛、実行委員間で連絡を密に取りながらの企画・運営、参加して頂いた構成団体の皆様の出店内容等の充実、天候にも恵まれ、約5,000人の来場者にお越し頂くことができました。

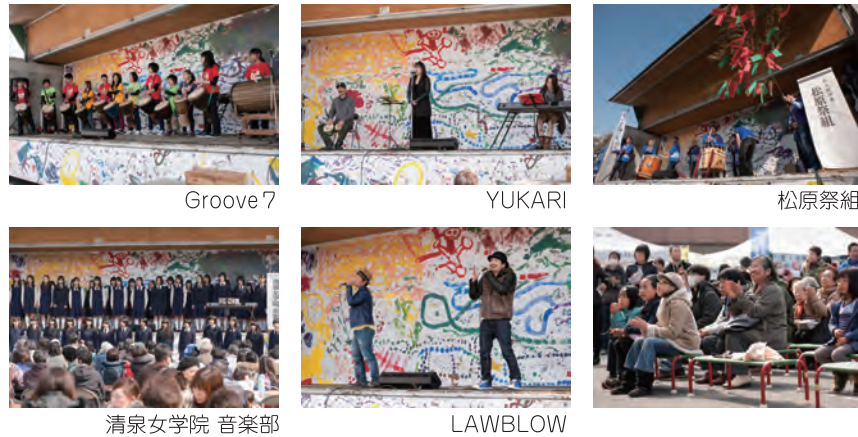
東日本大震災発生から3年が経過し、当初の支援活動や防災意識が少しずつ薄まりつつあります。復興を続ける東北の未来のため、そして将来の鎌倉市民のために、今後もALL鎌倉として情報発信、意識向上を続けて行きたいと思っております。

音楽で感じる

メインテーマは「音楽を通じて東北を感じる」

岩手県陸前高田市から「動く七ヶ松原祭組」、岩手県大船渡市から「LAWBLOW」、宮城県七ヶ浜町から「Groove 7」、福島県いわき市から「YUKARI」、地元で活躍している4組のミュージシャンや伝統芸能団体をお招きしました。それぞれの土地から生まれた音楽にのせて、東北人の熱い思いを音や歌詞に込めて演奏していただきました。そこに今年も「清泉女学院音楽部」による美しい合唱が加わりました。

東北からの4団体には午前と午後の2公演をお願いしました。本イベントの開始から終了まで、来場した多くの観客の耳と心を惹きつける素晴らしいメインイベントになりました。



食べる支援

1000尾限定の振舞浜焼きサンマ、大きな牡蠣やホタテ、東北の日本酒きき酒Bar、女川カレー、七七巻、会津こづゆ、まめぶ汁、なみえ焼きそば等、東北各県の美味しい海産物や郷土料理の屋台が揃いました。会場中央にステージ観覧も兼ねた飲食スペースを設けました。ほぼ全ての屋台で完売となりました。



買う支援

鎌倉にいなながらも可能な支援の一つである、物品購入。被災地域の自立的な復活のためには、生産→販売→収益がスムーズに循環し、生活基盤の再構築が不可欠です。会場には各地域の特色を活かした農業生産品や工芸品などが並びました。



伝える・知る

私たちが忘れてはならないのは、災害による悲惨な事実であり、それと引き換えに得られた多くの経験や教訓です。宮城県石巻市で避難所運営に携わってきた山田氏の講演会、福島県富岡町の語り部遠藤氏の話、当時を伝える写真パネル等が展示され、皆さん真剣な様子で見聞きしていました。



その他

「楽しみつつも防災訓練」として、主に子供を対象に訓練用消火器を使用した消火器射的を行い、消火器の扱いに慣れる機会を設けました。

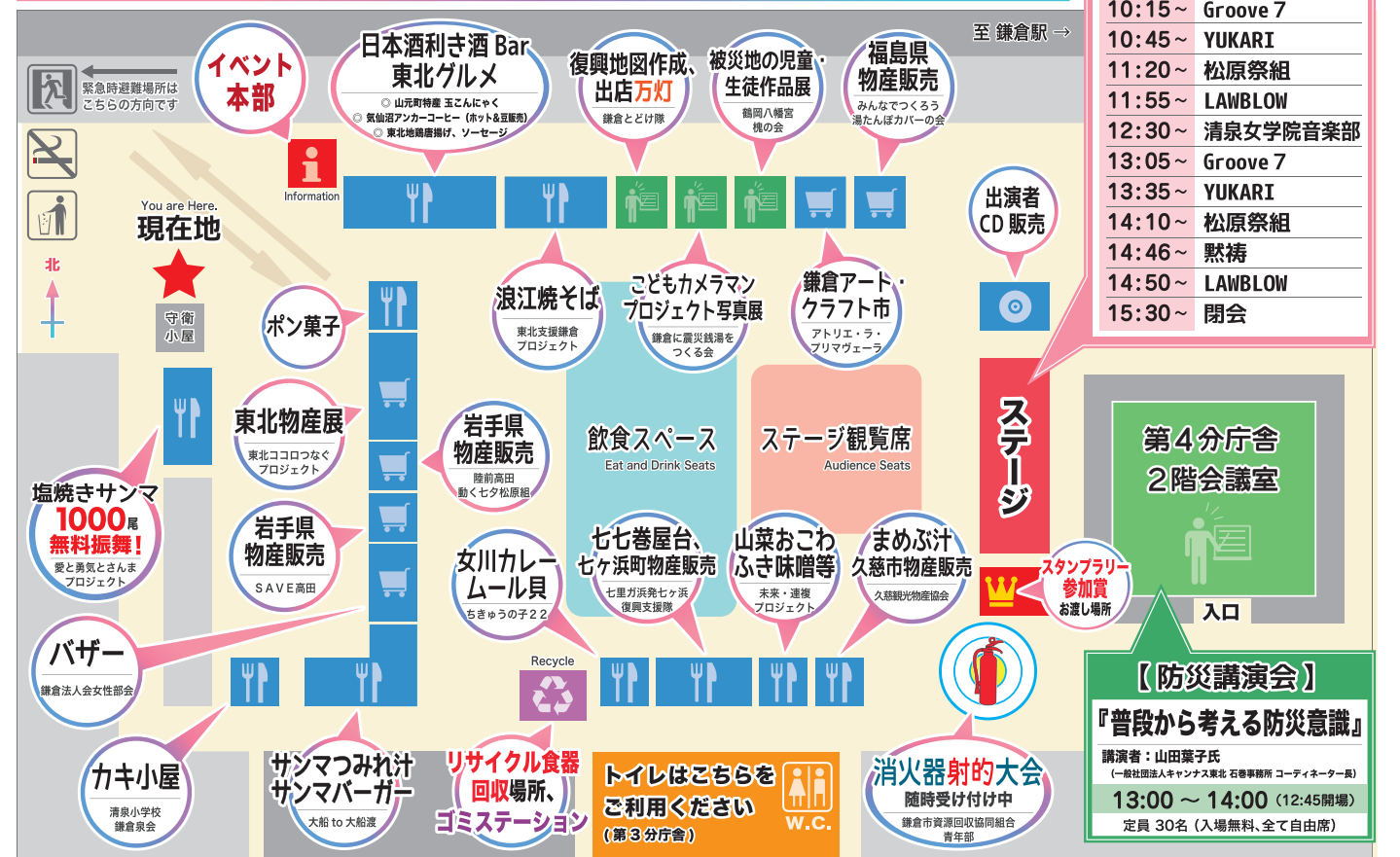
来場者及び出店者の方には、リユース食器によるゴミの削減、リサイクルのための分別回収に協力していただきました。



当日の様子



【会場案内図】



【主催】3.11ALL鎌倉実行委員会(代表 中里) www.facebook.com/3.11AllKamakura

【後援】鎌倉市 / 鎌倉市社会福祉協議会 / 鎌倉市市民活動センター運営会議

【協賛・協力】 建長寺 江ノ島電鉄 鎌倉市観光協会 岩手県久慈観光物産協会 JCN鎌倉ケーブルコミュニケーションズ 清泉女学院 大川商店 今市 鎌倉ガーディアンズ 愛と勇氣とさんまプロジェクト 湘南モノレール (順不同)

【実行委員会構成団体】 東北コロロつなぐプロジェクト 鎌倉法人会女性部会 いざ鎌倉隊!! ちきゅうの子22 大船 to 大船渡 七ヶ浜発七ヶ浜復興支援隊 キャンパス かまくら防災倶楽部 SAVE TAKATA 鶴岡八幡宮槐の会 鎌倉とどけ隊 鎌倉に震災銭湯をつくる会 アトリエ・ラ・プリマヴェーラ 鎌倉青年会議所 鎌倉市資源回収協同組合 市職員ボランティアいざ鎌倉隊 大川商店 みんなで作ろう湯たんぽカバーの会 未来・連福プロジェクト 清泉女学院鎌倉泉会 いざ鎌倉プロジェクト(順不同)